

令和6年度 第1回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 令和6年8月5日(月)

午前10時～11時15分

場 所 神栖市役所 本庁舎 第一委員会室

■出席者

戸塚委員、白鳥委員、川久保委員、南委員、樋口委員、渡邊委員、石橋委員、糸川委員（8名）

石田市長、新井教育部長、

文化スポーツ課 實川課長、加納副参事、犬塚社会教育主事、岡内主幹、野平主事（5名）

■欠席者

野口委員、羽生委員、吉岡委員、小松原委員（4名）

■傍聴者（定員10名）

0人

■会議内容

1 開 会

2 あいさつ

3 事務局紹介

4 案 件

（1）会長・副会長の選任

会長・副会長の選出を行いました。

委員の互選により、会長には渡邊委員、副会長に戸塚委員が選出されました。

（2）生涯学習推進事業の概要

資料に基づき、市で実施している生涯学習推進事業について事務局より説明しました。

【質疑応答】

委 員

基本目標ⅠからⅢに対して、十分網羅していると考えられます。実施状況の詳細で説明があると思いますが、私たちが活動している中で子どもの育成、環境づくり、さらには地域に還元する学び、この3つはシニアクラブやコミュニティ協議会の中で取り組んでおり、基本の柱として十分であると捉えています。

（3）令和5年度神栖市生涯学習関連事業実施状況

令和5年度の神栖市生涯学習関連事業の実施状況について事務局より説明しました。

【質疑応答】

委 員	基本目標Ⅲの施策1「発表・交流機会の充実」にある「スポーツレクリエーション大会の開催」について、令和6年度は各コミュニティセンター等を拠点として地域コミュニティ協議会が主催するイベントに変更とありますが、これまでのスポーツ健康まつりが廃止になるということですか。
委 員	所管課が市民協働課であるスポーツレクリエーション大会のことなので、長寿介護課で実施しているものとは異なると考えられます。
事 務 局	所管課である市民協働課に詳細を確認し回答します。
議 長	事務局は市民協働課に確認後、回答をお願いします。
委 員	基本目標Ⅲの施策1にある「生涯学習ふれあい祭り「芸能発表会」の開催」と「スポーツレクリエーション大会の開催」については、昨年議論されコミュニティ協議会に移管されることが決まっています。令和6年度方針の“変更”とは具体的にどのような変更なのか教えていただきたいです。
議 長	事務局はそれを含めた回答をお願いします。
委 員	基本目標Ⅰの施策3「子育てに関する講座の開催」については、事業名をみると健常者に対する講話のように思われます。神栖市では2027年に特別支援学校が設置されると聞いています。障害者や発達障害者を持つ保護者向けの講座は現状あるのか伺いたいです。 また、そのことは基本目標Ⅱの施策1「多様なニーズに対応する学習機会の提供」にある「地域ネットワーク勉強会の開催」や「福祉専門講座の開催」の中で実施されていると思いますが、特別支援学校が神栖市にできるにあたって、たくさんお困りの家庭があると思いますので、そういった方に向けての講座を実施していただきたいと思います。
議 長	現状、そういった方に向けての講座が少ないので増やして欲しいという意見で良いですか。
委 員	はい。
事 務 局	障害のある子をもつ保護者の方への勉強会は、社会福祉協議会の講座で実施していると把握しています。市の様々な部署で様々な事業を実施していますが、文化スポーツ課では、家庭教育学級を各学校に開設し、その保護者を対象に講座を実施しています。これらは、特定の保護者に向けたものではなく、障害のある子をもつ保護者に向けたものは、社会福祉協議会で実施しています。

委 員	事業評価については、前年度の評価なので、前年度の委員の方はよく理解されていると思います。所管部署が行う事業に対する評価は、一般の方や委員の方ではなく、所管部署でおこなっているという認識で良いですか。
事 務 局	はい。
委 員	基本目標Ⅰの施策3「子育てに関する講座の開催」では、事業後にアンケートを実施しているとありますが、全ての事業においてアンケートは実施されていますか。また、アンケート結果はどこで確認できるのですか。
事 務 局	各所管部署が事業評価をする際には、様々な指標があります。その中には、事業後のアンケート結果を評価指標として、所管課が事業評価をおこなっている場合もあります。事務局では、各課が事業評価した結果を集約しているのみのため、アンケートの詳細については所管課が保持しています。
議 長	アンケートの実施方法について、何かご意見はありますか。
委 員	一般的には講座に参加した方が、講座内容についてアンケートに回答する単純なものがありますが、講座に参加していない一般の方には、そのような機会はないので、そういった人々のニーズを把握し、講座に参加してもらうよう働きかける必要が生涯学習にはあると思います。また、生涯学習は広く深くみんなに伝わるようにどういったものが必要なのか考えていく必要があります。 今後は普段講座に参加していない一般の方を、講座に参加してもらうためにどういった取り組みを行う必要があるのか考えていく必要があります。
議 長	私が知っている限りでは、講座をおこなった後には、だいたいアンケート調査があります。講座を受けた人がアンケートに回答し、受けない人にはアンケートを実施していません。生涯学習推進計画は、5年ごとに見直しされますが、見直し前にはアンケートを実施していたと思います。そのアンケートは、全市民対象に行いますがアンケートに回答する人は少ないです。この第2次生涯学習推進計画を作成する前にもアンケートを実施していました。アンケートを実施しても、回答していただくのは非常に難しいと思います。
事 務 局	アンケートに回答してもらうのは、非常に難しいです。計画を作成する際には、アンケート方法を改善し、無作為抽出で選ばれた人にアンケートを郵送し実施しました。一定数の回答があれば、全体の傾向が見えると言われていました。計画の作成の際には、一定数の回答が得られるようにアンケートを実施していました。アンケートに回答してくれる人としらない人で、様々な差が出て難しいものと実感しています。

委 員	私も実際にアンケートに回答したことがあります。自分の専門以外だと分からないという回答になってしまいます。アンケートを実施していても、実際に回答する人は少ないのではと感じています。アンケートの内容についても工夫する必要があると思います。
議 長	アンケートを実施する際は、工夫してお願いしたいです。 また、基本目標Ⅱの施策2「図書館資料の整備」について、令和6年度は廃止ですか。
事 務 局	予算がつかず縮小としているが廃止ではありません。今後も進める必要があると思っており、所管課である中央図書館も進めるという認識ではあります。
議 長	みなさんは市の財政には余裕があると認識されているようですが、今は厳しいようですね。
委 員	生涯学習のためには必要ですが、利用者が少ないため縮小していく事業もあると思います。事業を縮小するにしても、単純に予算や利用者数が少ないだけで判断していくのか、それとも、生涯学習を広めていくために、次に何の手を打つかを見極める必要があると思います。 例えば、学校で読書しない子が多くなっており、事業評価として評価が低迷してもそれで良しとするのではなく、読書するように働きかけを行う努力が必要です。利用者が少ないから縮小するのではなく、今後の施策を維持していくことが大切です。
事 務 局	重要だがニーズがない事業はたくさんあると思いますが、生涯学習の観点から取組まなければならないと考えています。今回の「図書館資料の整備」は、令和6年度の方角性が縮小とはなっていますが、所管課においても、昨年度並みの実績になるよう努力したり、お金をかけず推進する方法を考えたりするのが望ましいと思います。
議 長	令和5年度の神栖市生涯学習関連事業の実施状況については報告済といたします。 最後に、1点お願いがあります。生涯学習推進会議は年2回実施します。会議の際には、必ずこの冊子を持参するようお願いいたします。

5 その他

6 閉 会